

CCSテクニカルワークショップ2021

～CCSの社会実装に向けたCO₂地中貯留技術の実用化～

日程 2021年1月27日(水)

10:30～16:35(10:00受付開始)

会場 虎ノ門ヒルズフォーラム 5F「メインホール」
およびWeb配信

東京都港区虎ノ門1-23-3 虎ノ門ヒルズ
森タワー5階
「虎ノ門ヒルズ駅」中目黒方面改札B1
出口直結
「虎ノ門駅」1番出口徒歩約5分
「神谷町駅」3番出口徒歩約6分
「新橋駅」烏森口出口徒歩約11分
[http://forum.academyhills.com/
toranomon/access/index.html](http://forum.academyhills.com/toranomon/access/index.html)



言語 日本語、英語
同時通訳有り

参加費 無料

主催 二酸化炭素地中貯留技術研究組合

共催 経済産業省、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

■ 申込方法

下記のサイトからお申込をお願いいたします。

<https://ccsws2021.net/form/>

会場参加申込締切: 2021年1月12日(火)

Web配信申込締切: 2021年1月19日(火)

サイトからご登録ができない場合は以下の記載事項を記入の上、
ccsws@rite.or.jpまでEメールでお申し込みください。

参加申込み記載事項

1. お名前(漢字): 2. お名前(かな): 3. 会社名(漢字):
4. 会社名(かな): 5. 部署名: 6. 役職名: 7. お電話番号:
8. Emailアドレス:
9. ご希望の参加方法: (Web配信・会場参加)
10. 今後の関連イベント案内の送付: (可・不可)

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、会場での対面開催とWeb配信をあわせたハイブリッド方式にて開催いたします。ご希望の参加形式をお選びください。

なお新型コロナウイルス感染症対策のため会場の定員数が少なくなっており、会場での聴講希望でお申込みいただいた方全員のお席を確保できない可能性がございます。

※ご提供いただいた個人情報は、参加者名簿の作成、イベント案内のために利用させていただくことがあります。

■お問合せ先

CCSワークショップ2021 事務局 Eメール: ccsws@rite.or.jp TEL: 03-5549-6911



開催趣旨

カーボンニュートラルのための選択肢のひとつとして、二酸化炭素回収・貯留（CCS: Carbon dioxide Capture and Storage）が挙げられます。CO₂地中貯留はそれを具現化するための重要な方策です。そのなかで、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構からの「安全なCCS実施のためのCO₂貯留技術の研究開発」に係る委託事業において、当技術研究組合では各種の技術開発等に取り組んでいます。

また、CCSの社会実装に向けては、技術面に加えて、民間企業へのインセンティブ、政府の支援など、多面的な方策や協力が必要となります。そこで、本ワークショップでは、海外のCCSプロジェクトを主導する専門家から、プロジェクトの動向や計画ならびに安全性に資するモニタリングについて解説していただきます。また、CCSの社会実装のための条件整備に係る方策についても紹介いたします。さらに、CO₂地中貯留の実用化には安全性と経済性の両立が求められていますが、それらを実現する光ファイバーセンシング技術やマイクロバブルCO₂圧入技術などの開発成果、実用化への取り組みについてご報告いたします。

プログラム

モデレーター 京都大学名誉教授 松岡 俊文

(敬称略)

項目	演題	講演者
10:00～	受付	
10:30～10:35	開会挨拶	二酸化炭素地中貯留技術研究組合 理事長 山地 憲治
10:35～10:40	共催者挨拶	経済産業省 地球環境対策室長 川口 征洋
10:40～10:45	共催者挨拶	国立研究開発法人新エネルギー・ 産業技術総合開発機構 環境部長 田中 秀明
10:45～10:50	趣旨説明	京都大学名誉教授 松岡 俊文
10:50～11:40	講演1 (web) Commercialization of Offshore CCS in Gulf of Mexico	Timothy A. Meckel Senior Research Scientist, Bureau of Economic Geology, Jackson School of Geosciences, The University of Texas at Austin
11:40～12:20	講演2 (web) Building Decarbonization Society in Indonesia through Carbon Capture, Utilization and Storage (CCUS)	Mohammad Rachmat Sule Senior Lecturer Bandung Institute of Technology (ITB)
12:20～13:30	休憩	
13:30～14:20	講演3 CCSの社会実装 ～産業、政府、金融の協力～	株式会社三井物産戦略研究所 シニア研究フェロー 本郷 尚
14:20～15:10	講演4 技術開発と実用化への取組 ～光ファイバーセンシング、マ イクロバブルCO ₂ 圧入技術～	二酸化炭素地中貯留技術研究組合 技術部長 薛 自求
15:10～15:30	休憩	
15:30～16:20	講演5 (web) Current Status of the Norwegian Industrial CCS Project - Longship/Northern Lights	Anne-Kari Furre Advisor Reservoir Geophysics Equinor ASA
	Updates on Northern-Lights monitoring project and R&T efforts input to the program	Roya Dehghan-Niri Principal Researcher Geophysics Equinor ASA
16:20～16:30	総括	京都大学名誉教授 松岡 俊文
16:30～16:35	閉会挨拶	二酸化炭素地中貯留技術研究組合 理事

※講演者名、演題、講演時間等は変更になる場合があります。